

OITDA/TP 37/AM (2022 Ed. 1)

光マルチキャストスイッチのソフトウェア／ハードウェアインタフェースの標準化に向けた検討経緯

## 概 要

光マルチキャストスイッチは、光通信ノードにおいてアド／ドロップポートへの光信号経路の切り替えを行う主要部品として重要な役割を担っている。光増幅器及びダイナミックモジュール標準化部会では、アンケート調査を軸にして、光マルチキャストスイッチの電気制御を担うソフトウェア及びハードウェアインタフェースの標準化に向けた検討を進めてきた。本資料は、アンケート調査に基づく標準化検討経緯をまとめるとともに、その過程で議論・分析したダイナミックモジュールに関する今後の標準化活動の課題を整理したものである。